

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

20915

和歌山城ホール管理運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌山城ホール費		
	大事業	和歌山城ホール費		
中事業	和歌山城ホール管理運営事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山城ホール条例、和歌山城ホール条例施行規則		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌山城ホールを安全に利用できるように維持管理する。		和歌山城ホールを安全に利用するための維持管理事業			
事業内容	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	
		修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 公益財団法人和歌山市文化スポーツ振興財団	修繕費及び火災保険料の支出 施設の貸出業務、管理運営業務、自主事業の実施 指定管理者 株式会社ケイミックスパブリックビジネス		

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	0	0	153,490	153,466	164,188	142,402	152,468	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	7%	△7.2%	△7.1%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	0	0	0	0	30,721	30,721	8,093	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	1,288	1,288	0	0	0
	小計	0	0	0	0	32,009	32,009	8,093	0	0
国庫支出金	0	0	1,987	0	2,434	1,741	3,000	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	3,914	0	4,598	1,877	5,142	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	147,589	153,466	157,156	138,784	144,326	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	3.91	3.91	1.03	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	0.57	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 152,089千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
自主事業開催数	回	目標値		29	29	29	
		実績値		38	46		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
自主事業入場者数	人	目標値		5000	5000	5000	
		実績値		10327	16172		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
施設利用件数	件	目標値		8000	8000	8000	
		実績値		17861	19688		
		達成度(%)	%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	施設を適切に維持管理し、市民の文化芸術活動の場として提供することで文化振興に寄与する。
見直し・改善内容	「にぎわいの文化交流拠点」を目指し、より一層施設の周知・広報を行いながら利用者の増加を図る。